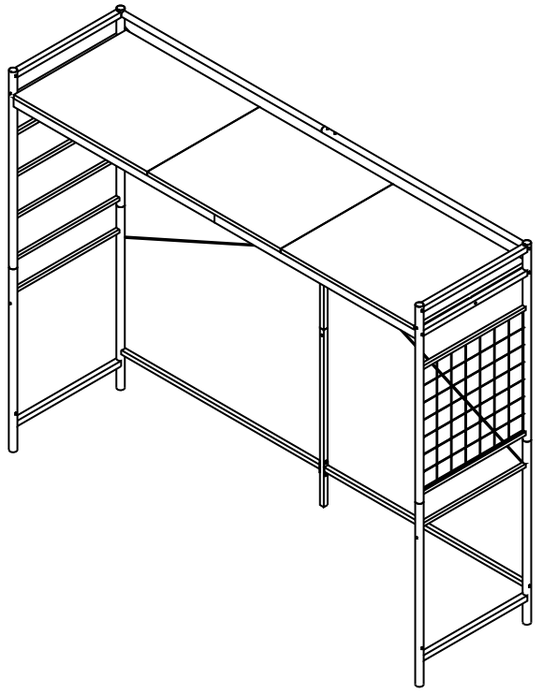


ハンガーシェルフ

取扱・組立説明書

HGS-004

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方で末長くご愛用下さい。
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

株式会社 ホームテイスト

MADE IN CHINA

⚠ 床面の傷・汚れ防止対策について

- 床面がフローリングや畳などの場合、そのまま設置すると床面に傷がつく場合がございます。必ず敷物などを敷き、傷防止対策をしっかり行って下さい。
- 床面がクッションフロアーの場合、敷物などを敷いて下さい。脚部(木部の場合)染料と床面との反応による汚れ防止になります。

商品の設置について

- 高温多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害することがあります。壁から少し離したり部屋の換気をして下さい。
- 直射日光や熱、冷暖房器の強風などが直接当たらないようにして下さい。変形、変色、また火災の原因となることがあります。
- 平らな場所に水平になるように置いて下さい。変形やゆがみの原因となることがあります。

点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、かたく絞った布等で完全に洗剤分を拭きとって下さい。水分等が残りますと後が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ、金具類はゆるみやぐらつきがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたらしっかり締めなおして下さい。

組み立て前によくお読み下さい。

■ ご準備頂くもの

- ハサミ、またはカッターナイフ。
- 少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等）。

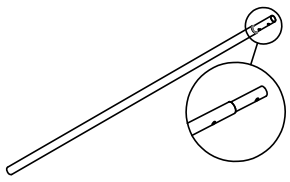
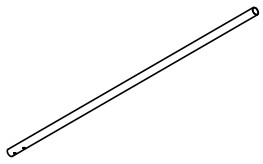
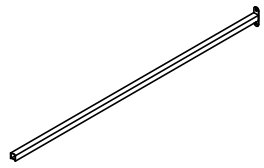
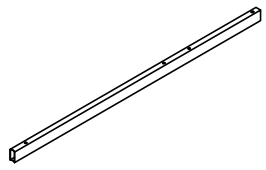
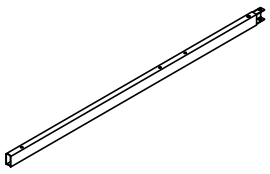
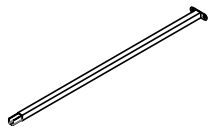
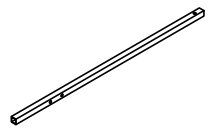
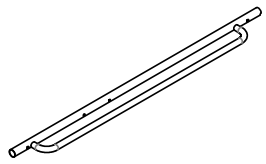
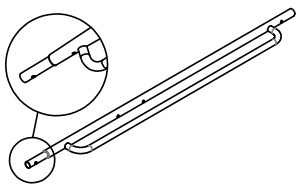
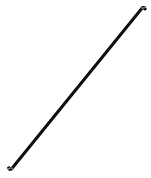
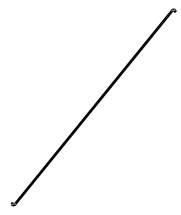
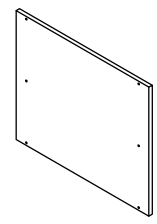
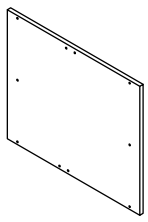
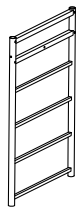
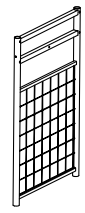
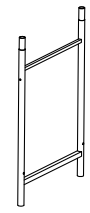
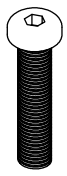
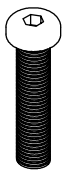
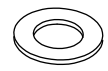
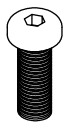
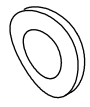
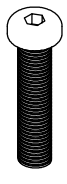
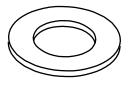
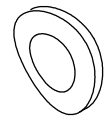
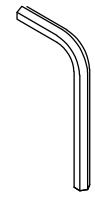
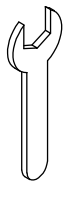
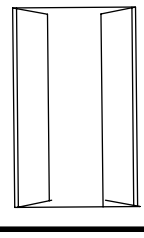
■ 組み立て時の注意

- 安全に組み立てるために2人以上での組み立てをオススメいたします。
- 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや、やわらかい布等を敷いて行なって下さい。
- ネジは、最初は緩めに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めて下さい。
- 部品は正確に取り付けて下さい。

⚠ 使用上の注意

- 局部的に過度な荷重を加えると、フレームの破損の原因になります。
- シェルフの上に乗ったりしないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- 保護者の目の届かないところで、お子様ひとりでは使わないで下さい。思わぬケガの元になることがあります。
- 組立て、使用時に指や手をはさまないように注意して下さい。
- 木材の接着剤などが残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状を起こすことがありますので、換気を十分にして取り除くようにして下さい。徐々に薄れていきます。
- そのまま引きずるとケガや破損、床面のキズの原因になります。
- 本品は屋内用です。また、この商品は家庭用の目的で製造しております。業務用には使用しないでください。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損・ケガの原因になります。
- ストーブのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- 設置による床や壁の傷、汚れ等は補償対象外です。弊社では責任を負いかねます。
- 階段以外の場所から昇降しないで下さい。

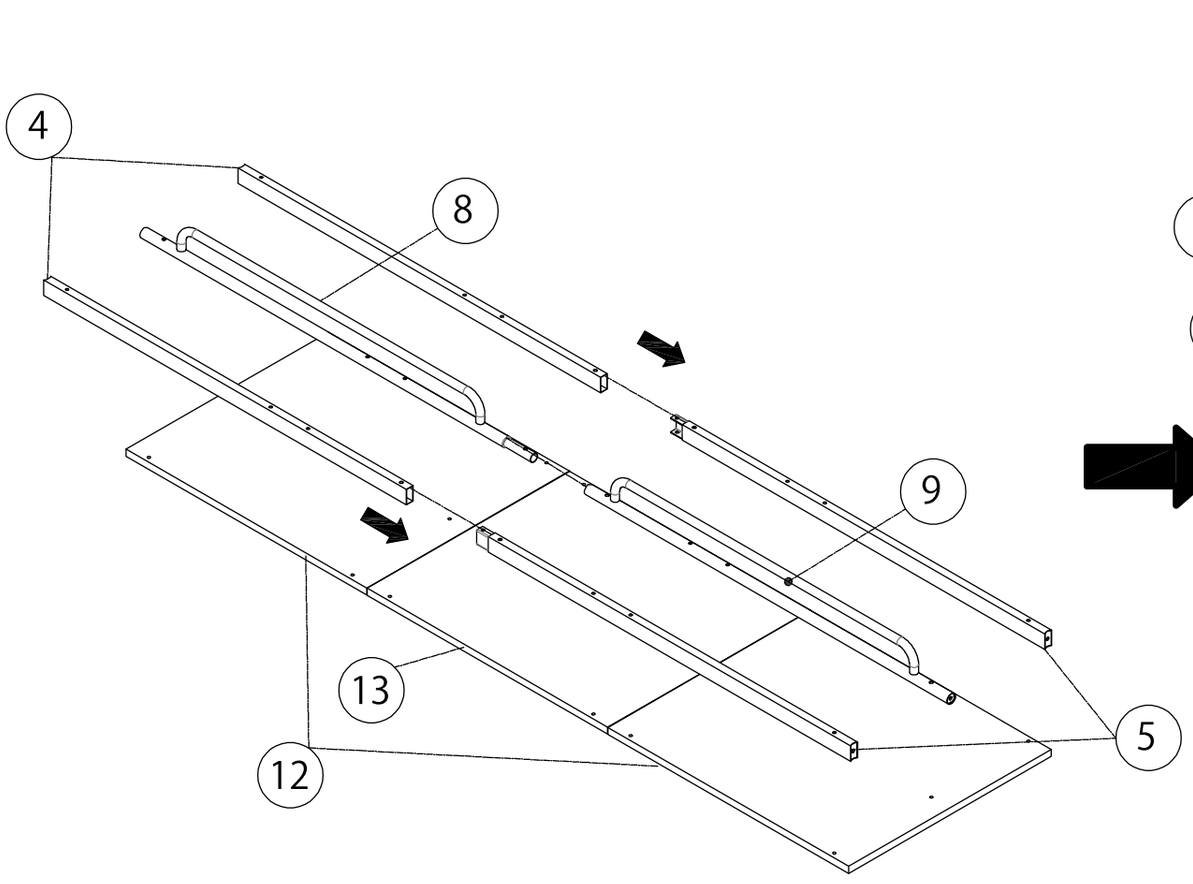
ハンガーシェルフ　取扱・組立説明書　HGS-004　2/8

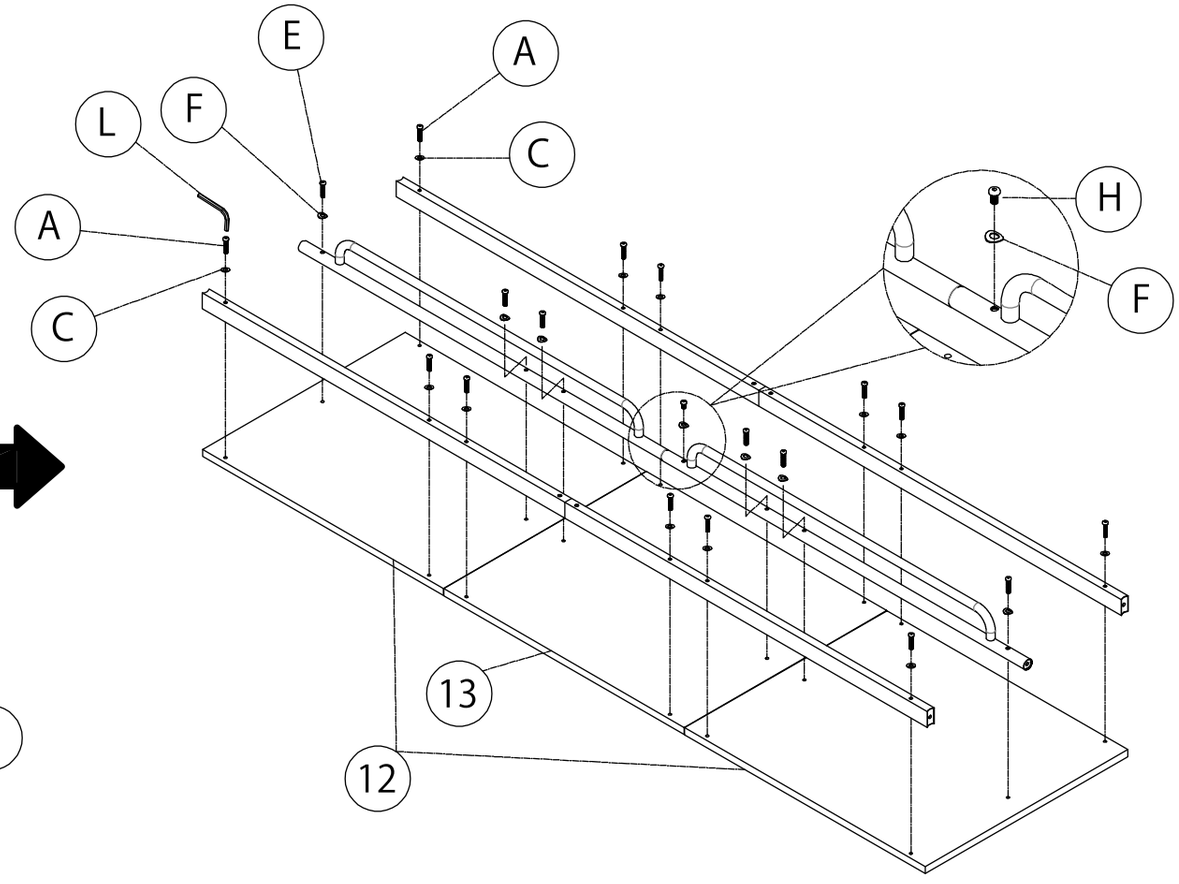
① 上部フレームA	② 上部フレームB	③ 下部フレーム	④ 棚板下フレームA
 ×1	 ×1	 ×2	 ×2
⑤ 棚板下フレームB	⑥ 支柱フレームA	⑦ 支柱フレームB	⑧ ハンガーフレームA
 ×2	 ×1	 ×1	 ×1
⑨ ハンガーフレームB	⑩ すじかい短	⑪ すじかい長	⑫ 棚板A
 ×1	 ×2	 ×2	 ×2
⑬ 棚板B	⑭ サイドフレームA	⑮ サイドフレームB	⑯ 下段サイドフレーム
 ×1	 ×1	 ×1	 ×2
A.ネジa　(M6*50)	B.ネジb　(M6*55)	C.ワッシャー中	D.ワッシャー小
 ×14	 ×2	 ×19	×2
E.ネジe　(M6*35)	F.カーブワッシャー小	G.ナット	H.ネジh　(M6*15)
 ×8	 ×9	×2	×4
I.ネジi　(M8*50)	J.ワッシャー大	K.カーブワッシャー大	L.六角レンチ
 ×10	 ×2	 ×8	 ×1
M.スパナ	N.すじかい調整金具カバー	O.すじかい調整金具	
 ×1	 ×2	×2	

1

④棚板下フレームAを⑤棚板下フレームBに、⑧ハンガーフレームAを⑨ハンガーフレームBのフレームにはめ込み
⑫⑬の棚板を図のように並べます。

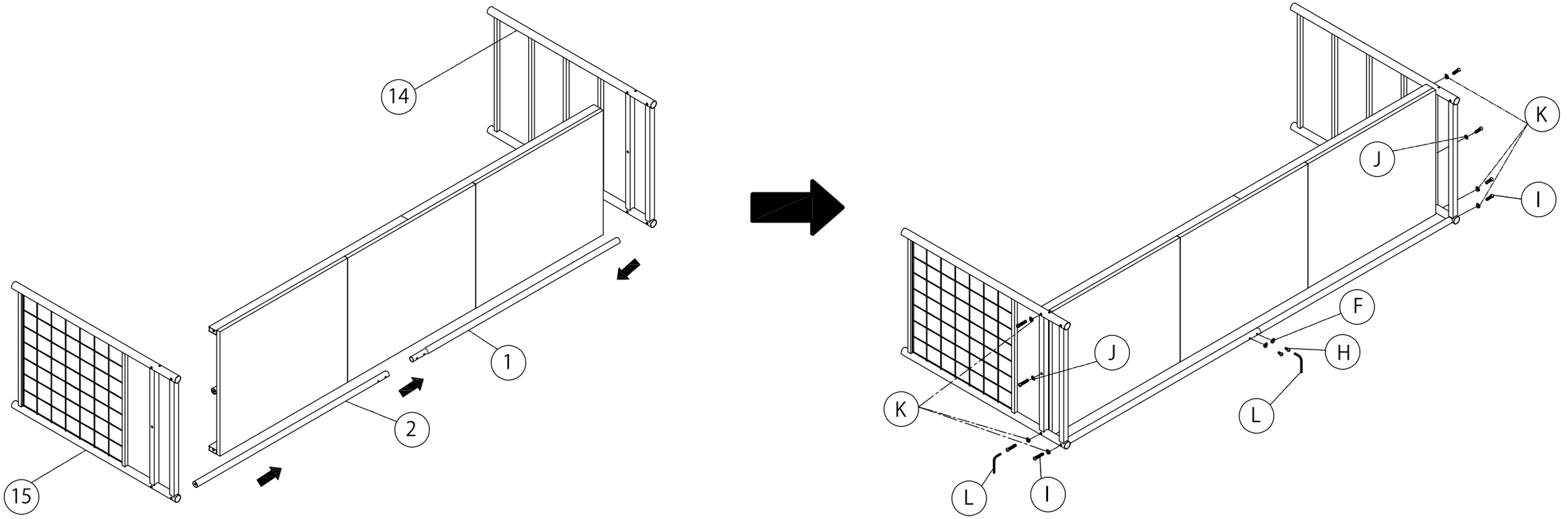
次に、先ほどはめ込んだフレームをL.六角レンチを使い、A.ネジaをC.ワッシャー中で、E.ネジeをF.カーブワッシャー小で
図のように⑫⑬棚板に取り付けます。
⑧ハンガーフレームAと⑨ハンガーフレームBのフレームのつなぎ目はH.ネジHとF.カーブワッシャー大で閉めます。





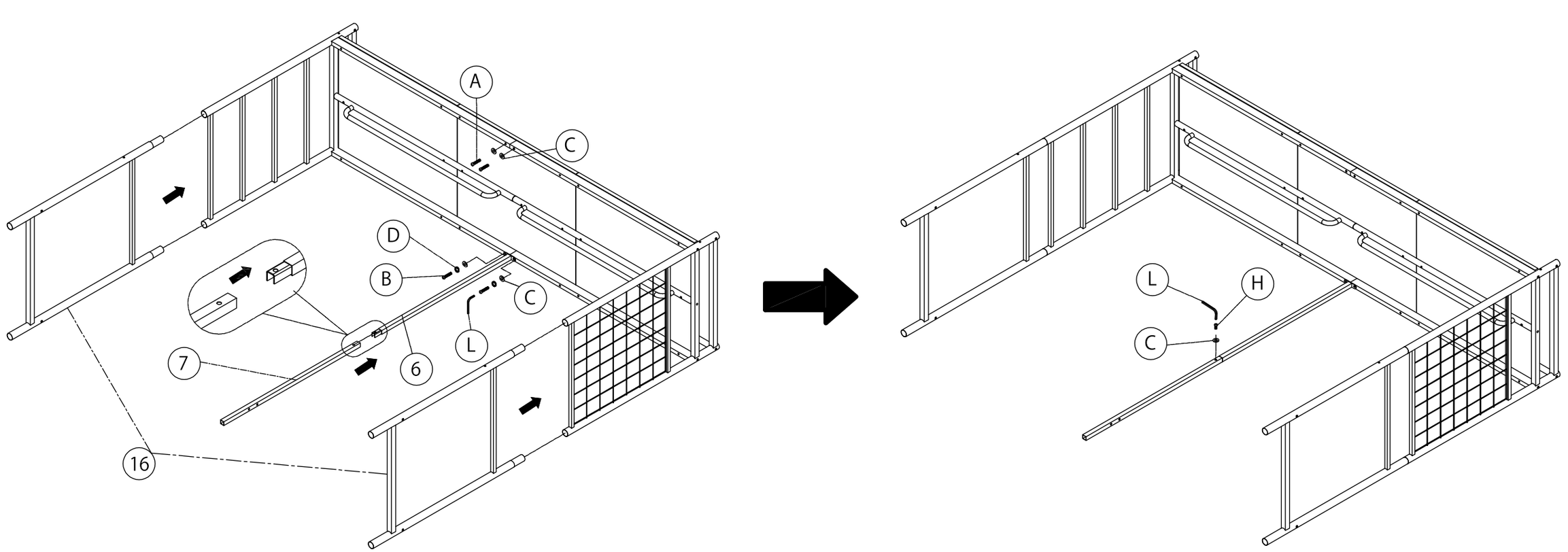
2

①上部フレームA、②上部フレームBをH.ネジH、F.カーブワッシャー小で組み合わせ、
ステップ 1 で組み立てた棚板と⑭サイドフレームA、⑮サイドフレームBをI.ネジi、
K.カーブワッシャー大、J.ワッシャー大を使いL.六角レンチで組み合わせます。



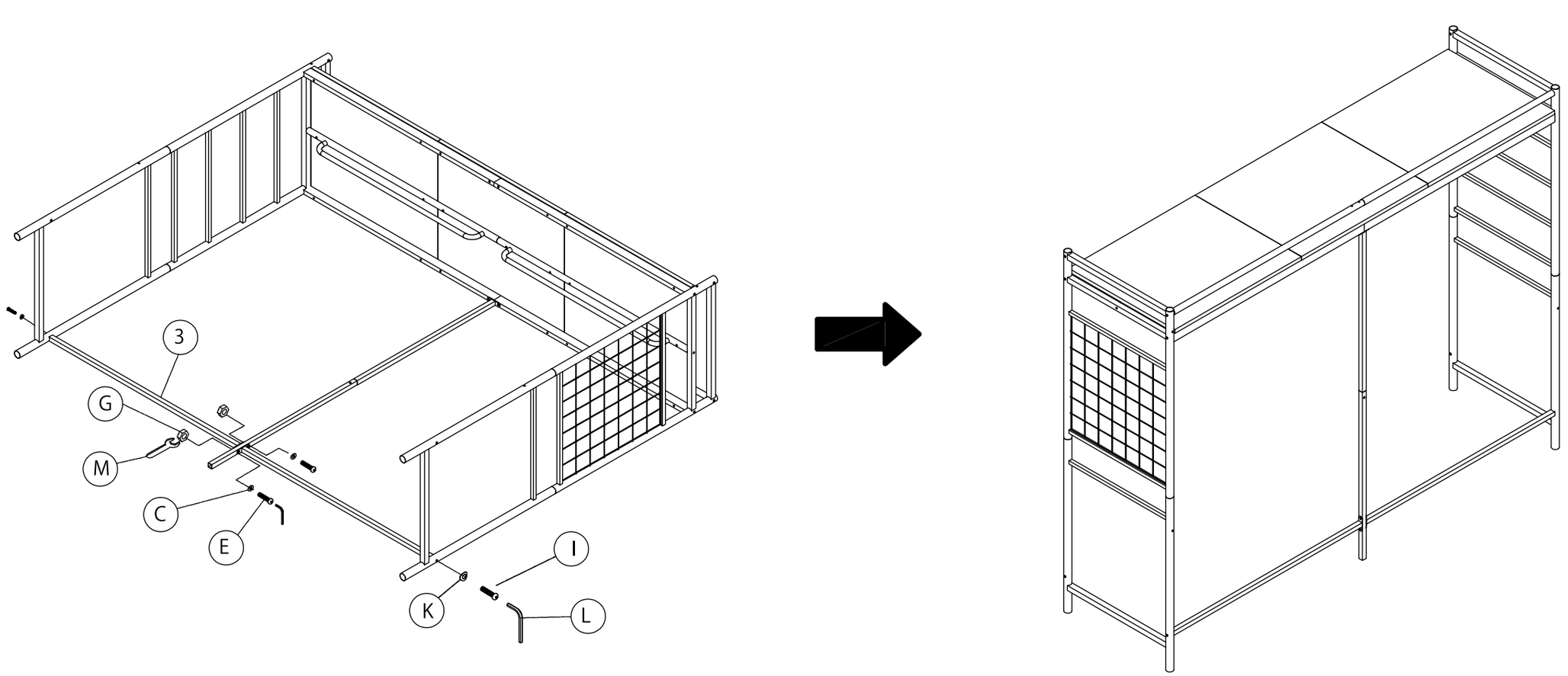
3

⑯下段サイドフレーム２本を図のようにさしこみ、⑥支柱フレームAを⑦支柱フレームBにさしこみます。
B.ネジbとD.ワッシャー小、C.ワッシャー中、L.六角レンチを使って、支柱フレームを棚板に固定します。
支柱フレームを取り付けない方の④⑤棚板下フレームABは、A.ネジaとC.ワッシャー中で固定します。
次に支柱フレームABをH.ネジh、C.ワッシャー中、L.六角レンチで固定します。



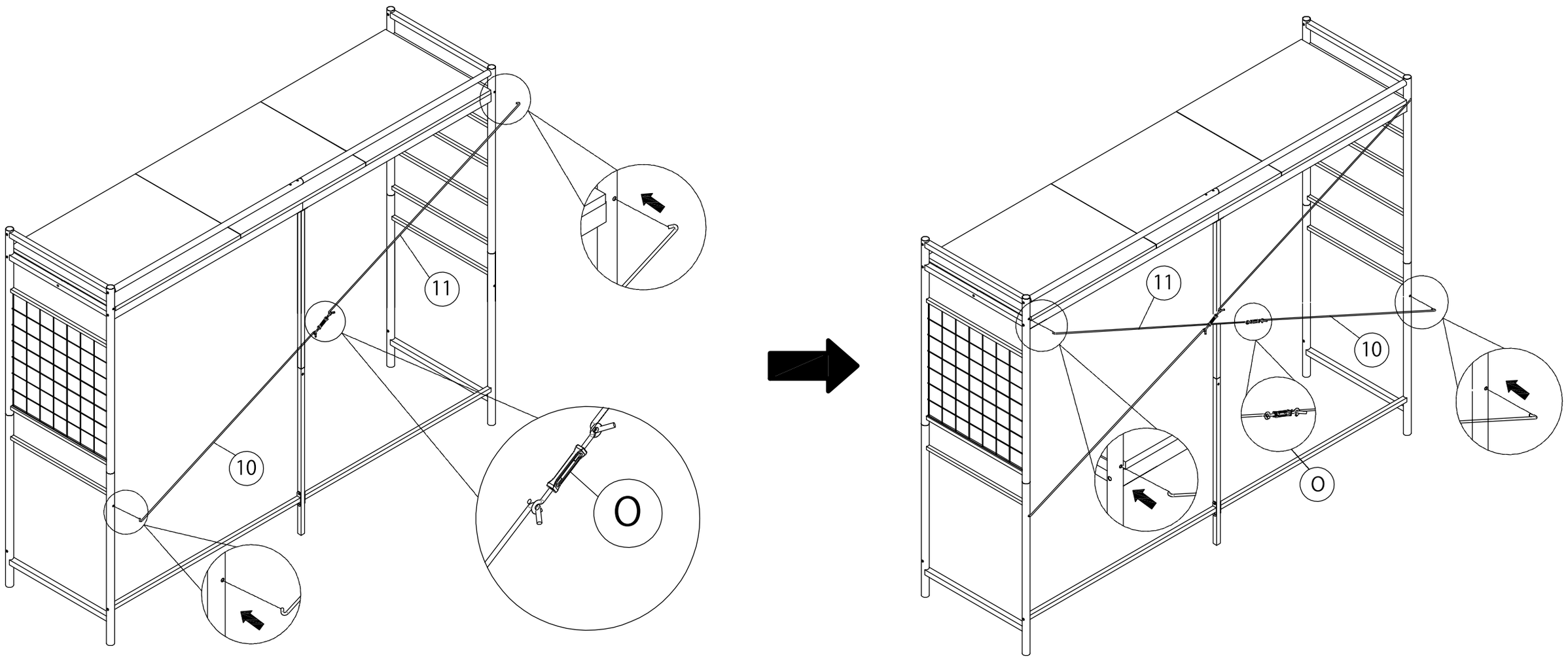
4

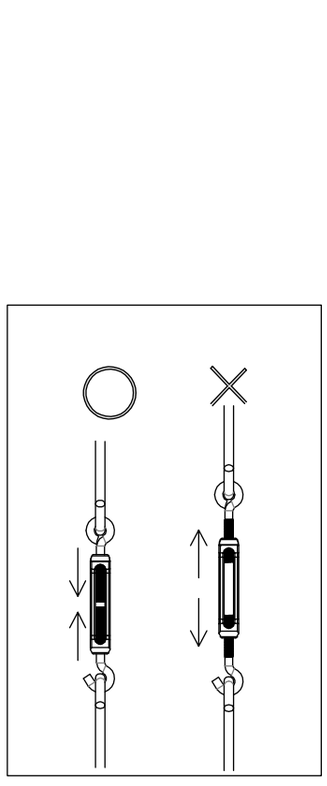
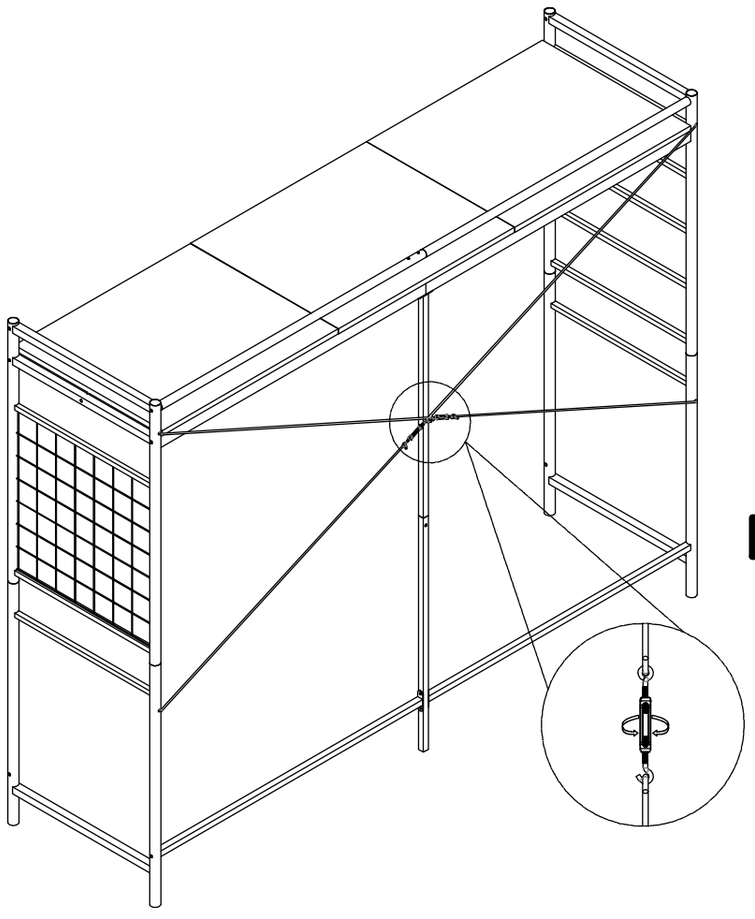
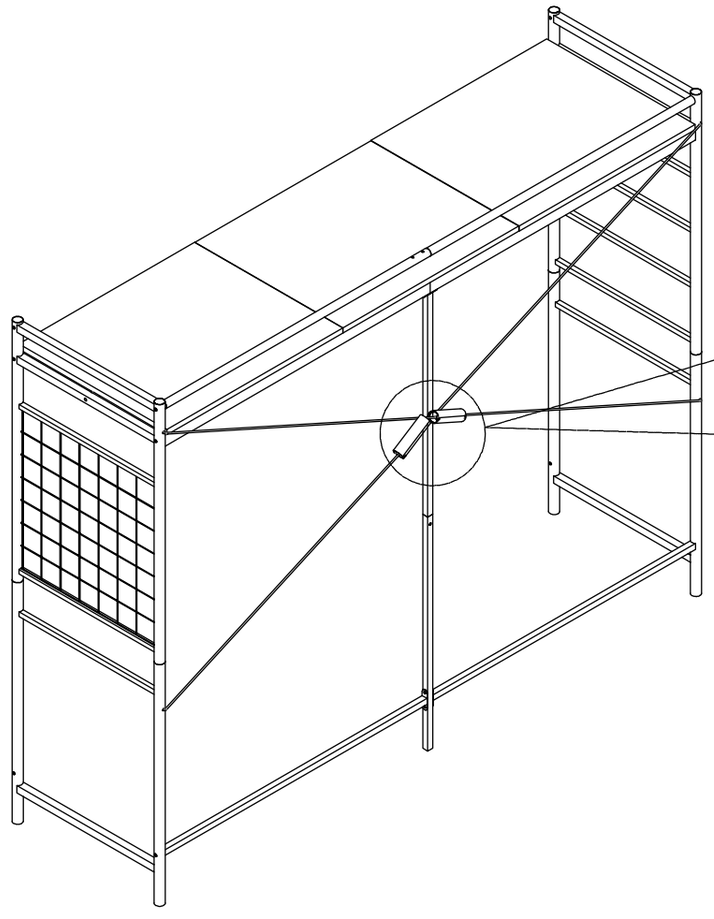
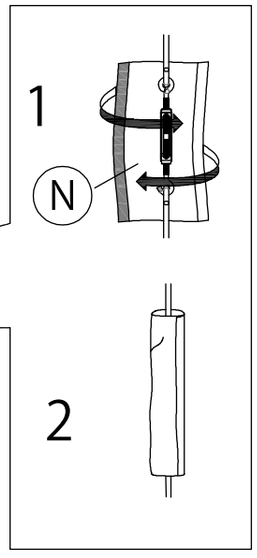
③下部フレームをT字になっている方を支柱フレームに向けて図のように取り付けます。
G.ナットとE.ネジe、C.ワッシャー中、M.スパナで支柱フレームと③下部フレームを固定します。
⑯下部サイドフレームと③下部フレームはI.ネジiとK.カーブワッシャー大、L.六角レンチで固定します。
すべて固定したら２人以上で図のように本体を立たせます。



5

⑩すじかい短、⑪すじかい長をO.すじかい調整金具を使って図のように取り付けます。



6

O.すじかい調整金具でしっかりすじかいが張るように調節して、N.すじかい調節カバーを図のように取り付けて完成です。